所属長の方は内容を確認し
必ず受講者にお渡しください

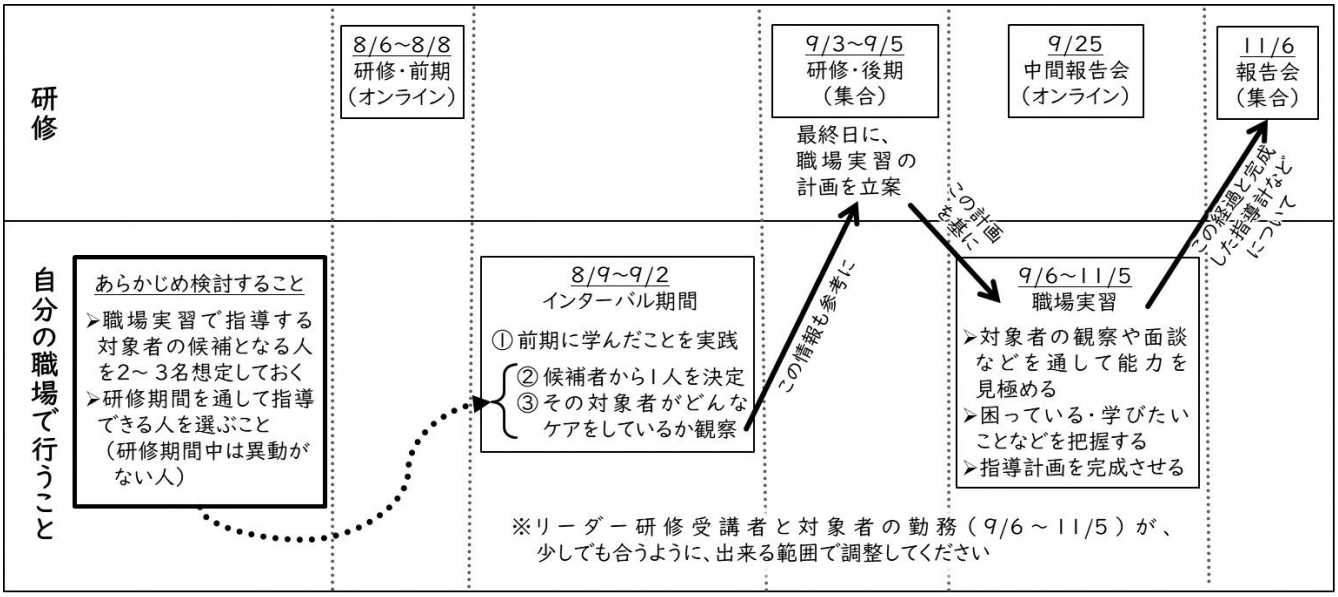
研修を受講される皆さまへ
令和６年度 福島県認知症介護実践リーダー研修
「研修を受講する前に検討していただきたいこと」

1. 認知症介護実践リーダー研修（リーダー研修）の目的

本研修は、施設・事業所において認知症介護の質を向上させるために、個々のスタッフの能力を引き出し、ケアチームを効果的・効率的に機能させる能力を有したリーダーを養成することを目的として実施しています。平成 27 年度までの職場実習ではチーム全体をターゲットにした取り組みを行うことが中心的な課題でしたが、国のカリキュラム改定により平成 28 年度からは人材育成に重きが置かれるようになりました。現在ではチーム全体を考えつつも、特定のスタッフ（以下、対象者）を選んで、リーダーに求められる人材育成のノウハウを学ぶ研修となりました。

限られた研修期間で職場実習を効果的に進めていくために、あらかじめ検討しておいていただきたいことがあります。以下をよくご確認の上、研修に備えてください。

2. 研修の流れ



3. 研修が始まる前までに検討していただきたいこと

①職場実習で指導する対象者の候補となる人を 2～3 名想定しておいてください

➔研修期間を通して指導できる人を選んでください。研修期間中は異動がないことが重要です。　同一対象者に対しての一貫した指導を考えていきますので、対象者が変わってしまうと、実習計画を立て直したり、はじめからアセスメントをやり直すことになります。

➔「研修・前期」の最後に、対象者の選び方についてあらためて説明しますので、それを踏まえて　「インターバル期間」に候補者の中から１人の対象者を決定していただきます。

【選定にあたっての考え方】

どんなチームでも、認知症ケアの課題を抱えており、所属するスタッフにも多くの共通する課題があるはずです。本研修では、特定の対象者だけをどうにかするということではなく、その対象者を通してチーム全体の課題も考えていきます。そこで、多くのスタッフに共通する課題を持っている平均的なスタッフを対象者として想定してください。「あの職員はひどいから、この機会に指導しよう」といった理由で対象者を選ぶことがないようにお願いいたします。また、リーダー研修の受講者が、対応にひどく苦慮することが容易に予想されるような人は選ばないようにしてください。候補者は、受講者の先輩・同期・後輩のいずれでも構いません。